

に弱く、夜間に水槽内が酸欠になると朝方に水面にバクテリアの死骸が油膜のように浮かびます。見た目も水質も悪化するため、夜間はエアレーションを行って酸欠を防ぎます。いわゆる「ブクブク」ではなく、実際には水面が揺れていれば酸素は十分に取り込まれるため、私は外部フィルターの排水側のスピンパイプをキスゴムで少し水上部まで持ち上げ、水面を揺らすようにしています。

水槽内に過剰な養分があると水槽面にコケが生え、見栄えが悪くなります。水槽内ではコケと水草の間で養分の取り合いがあり、水草が勝利している水槽ではコケが生えづらく、美しい状態が維持されやすいです。特に水槽上部が開放され、水中から水上に水草が旺盛に展開しているオープンアクアリウムでは水草の浄化能力が遺憾なく発揮され、コケが生えづらくなるだけでなく、水替えの量や頻度も減らすことができます。水替えの主な目的は水中に蓄積した

硝化物を取り除くことです。濾過バクテリアが定着した水槽では有毒なアンモニアは亜硝酸塩を経て速やかに毒性の低い硝酸塩に変換されますが、硝酸塩も蓄積すると生体には有害で、定期的に除去しなければなりません。しかし植物が硝化物をぐんぐん吸収するような環境では水替えは究極的には不要になり得ます。

生体は鑑賞性を高める他、ボウフラなどの害虫予防や植物の生育に必要な窒素の供給源、コケとり役としても有用です。生体追加には既に構築された環境との相性を考慮します。

このように、アクアリウムという趣味では生体の飼育はおまけで、むしろ生体が暮らしやすい環境を構築することを楽しみがあります。さらに水草のトリミングや植え替えなど庭造りの要素もあり、美しい水槽はインテリアにもなります。もちろん生体の観察や撮影も楽しいものです。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL： <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

